

令和7年度第1回地元協議会「会議録」

日 時：令和7年8月17日（日）午前10時00分～午前11時50分

場 所：多摩ニュータウン環境組合 見学者説明室

出 席 者

住民委員：唐木田自治会（1名）、中組自治会（1名）、唐木田李久保自治会（1名）

町田市上小山田町内会山中地区（2名）、ホームタウン鶴牧-6 団地管理組合（1名）、
ヒルサイドタウン鶴牧-6 団地管理組合（1名）

組合委員：事務局長、総務課長、施設課長、計画担当課長(兼)出納課長

その他参加者：管理者、リサイクルセンター長、町田市環境資源部（資源循環部長、循環型施設
管理課長）、事務局（3名）

I 開会挨拶

・出席者・参加者の自己紹介。管理者挨拶。

II 定例報告（第1部）

1 令和6年度多摩清掃工場の運営について

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| (1) 主な事業の取り組み | (5) 構成市間応援協定に基づく処理状況 |
| (2) 電気設備火災の状況報告について | (6) 能登半島地震により生じた災害廃棄物の受入れについて |
| (3) ごみ搬入量と人口の推移 | (7) 焼却炉運転日数 |
| (4) 多摩清掃工場へのごみ搬入量 | (8) 環境測定結果 |

2 令和6年度リサイクルセンター運営状況について

3 その他

- (1) 第16回たまかんフェスタの開催について
- (2) 唐木田クリーンアップ作戦の実施予定
- (3) 可燃ごみピットの適正管理による安全性の向上
- (4) 町田市処理支援ごみ搬入量の報告について

III 連絡調整（第2部）

1 多摩清掃工場施設老朽化対応の進捗報告について

2 視察研修について

IV 工場見学

・施設見学を30分程度実施。

V 閉会

<配布資料>

- ・多摩ニュータウン環境組合地元協議会設置要綱
- ・令和7年度多摩ニュータウン環境組合地元協議会委員名簿
- ・<スライド資料>令和7年度第1回地元協議会 . . . 【資料1】
- ・<スライド資料>町田市の支援依頼ごみ搬入量等の報告 . . . 【資料2】

<司会進行 総務課長>

I 開会挨拶

総務課長	○組合委員及び関係者の紹介（自己紹介兼挨拶） ○住民委員の自己紹介（挨拶）
管 理 者	○電気設備火災復旧完了について及びお礼。 ○ごみの応援受入状況について（町田市、能登半島地震の災害廃棄物の広域処理）。 ○リチウムイオン電池の火災対策（散水設備設置）、リチウムイオン電池対策については、多摩市長としても環境部経由で嚴重に市民への理解促進を図っている。電力地産地消事業を行っている。 ○地域交流事業の日程案内。 ○老朽化対応・新施設建設として、令和19年度の稼働を決定した。 ○焼却ごみは、減少傾向であり、資源の有効活用が進んでいる。 ○本日の予定（工場見学）及び第2回地元協議会の他の工場視察について。
総務課長	○本日の会議進行への注意事項など説明（組合の写真撮影、録音について、発言時のマイク使用等） ○本日、配布資料の確認

II 定例報告（第1部）

事務局長	<資料1（スライド資料）に基づき説明> スライド資料 P2 を用いて、地元協議会について説明。
総務課長	<資料1（スライド資料）に基づき説明> 定例報告、連絡調整の概要について、スライド資料 P3～P5 を用いて説明した。
事務局長	<資料1（スライド資料）に基づき説明> 以下内容をスライド資料 P6～P13 を用いて説明した。 1 多摩清掃工場の運営について (1)主な事業の取り組み
施設課長	<資料1（スライド資料）に基づき説明> 以下内容をスライド資料 P14～P24 を用いて説明した。 1 多摩清掃工場の運営について (2)電気設備火災の状況報告について (3)ごみ搬入量と人口の推移 (4)多摩清掃工場へのごみ搬入量 (5)構成市間応援協定に基づく処理の状況 (6)能登半島地震における災害廃棄物の受入れについて (7)焼却炉運転日数 (8)環境測定結果

リサイクルセンター 長	<資料 1（スライド資料）に基づき説明> 以下内容をスライド資料 P25 を用いて説明した。 2 リサイクルセンター運営状況について
10:30	管理者が公務の都合により退席。
総務課長	<資料 1（スライド資料）に基づき説明> 以下内容をスライド資料 P26～P27 を用いて説明した。 3 その他 (1) 第 16 回たまかんフェスタの開催について (2) 唐木田クリーンアップ作戦の実施予定について
施設課長	<資料 1（スライド資料）に基づき説明> 以下内容をスライド資料 P29 を用いて説明した。 3 その他 (3) 可燃ごみピットの適正管理による安全性の向上
町田市循環型施設管理課長	<資料 2（スライド資料）に基づき説明> ○町田市のごみ受け入れについて、地元住民へのお礼。 ○スライド資料 P1～P5 の内容を説明。
	【質疑応答】
ホームタウン鶴巻	○報告の中で安全性を重視しており、地域住民として多摩清掃工場がしっかり稼働していることを安心して見ていきたいと思っている。 Q1：スライド P24 の「(8)環境測定結果 排ガス調査（ダイオキシン類）」についてだが、R6.7.9 の数値が 2 桁ほど良いので問題はないが、ばらつきの変動が出るのは、どのように考えているのか。 Q2：スライド P23 の「(8)環境測定結果 排ガス調査（ばい煙等）」の水銀数値も令和 6 年の 9 月以降、数値が 1 桁ほど良くなっているのは、装置の改修とかフィルターの交換などされたのか、また測定結果のコントロールをどのようにしているのかも含めて教えていただきたい。 Q3：町田市バイオエネルギーセンターについて、稼働率はどれくらいか。また施設運営の苦労などもあれば、合わせてお聞かせいただきたい。
施設課長	A1:ダイオキシン類の数値の変動は、ごく微量の測定をする MLAP という認証機関が認証した業者が測定しているため測定の精度の差異というよりは、運転状態（温度管理とかその時に入ったごみの質）により、変動があると考えられる。 A2:水銀については施設で発生したものではなく、ごみに入ってきた水銀が検出されてしまうものである。水銀のコントロールについては活性炭で吸着することで対応

	しているが、活性炭の吸着力は強いので、ダイオキシンも吸着する。そういったことも、桁数が変動する理由の一つかと思われる。最新のダイオキシン類の測定結果について、良い数値が出ているので、ご安心いただきたい。水銀については、ごみを捨てる時に注意してもらうよう周知するなどして対応していきたい。
町田市循環型施設管理課長	A3:施設の稼働率についてですが、バイオエネルギーセンターの可燃ごみ焼却能力の設計値は年間 63,000t で設計している。施設の稼働に向けて町田市民のごみ削減があまり進まなかったこともあり、支援ごみとして多摩清掃工場へお願いさせていただいている状況である。 バイオエネルギーセンターについては、2024 年度は 71,400t のごみを燃やして、外で支援される量は減らす努力はしている。これは運営事業者により運用方法を変更するなど工夫することで実現している。 施設の稼働率についてだが、バイオガス化施設は、2023 年 11 月から止まっていたが、今年の 7 月上旬に完全復旧して、通常稼働している。また、3 月と 5 月に発生した焼却炉ボイラの水管（2 つの焼却炉の不具合）はすでに復旧しており、現在通常に稼働している。今年度については、2 つの焼却炉(1,2 号炉)の不具合の影響もあり若干の焼却量の減少とはなったが、施設としてはできる限りの運転はしている状況である。

Ⅲ 連絡調整（第 2 部）

計画担当 課 長	<資料 1（スライド資料）に基づき説明> 以下内容をスライド資料 P33～P37 を用いて説明した。 1 多摩清掃工場施設老朽化対応の進捗報告について 2 視察研修について
	【質疑応答】
町田市上 小山田町 内会山中 地 区	質問というよりはお願いになる。 スライド P33 において、新焼却施設は令和 19 年度から本格稼働ということであり、10 数年後先ではあるが、本格稼働に向けてのスケジュール感がわからない。 いつごろまでに新しい施設の計画を作るのか、設計はいつ頃を考えているのか、工事はいつ頃入るのかという今後の計画を概ねで良いので、今後は報告として、こういう資料にも加えていただきたい。
計画担当 課 長	建設に向けての財源が大切なので、現在はその手続きを進めている段階である。 財源など目途がたってから、今後次の段階になったら、きちんと情報共有するので、今後もよろしくをお願いしたい。

Ⅳ 工場見学

見学行程

見学者説明室前⇒灰ピット⇒ごみピット⇒分析室前⇒中央制御室前⇒発電機室⇒ごみクレーン操作室

（閉会時刻 午前 11 時 50 分）